

議会報告会開催概要（釧路地区）

開催日時	平成 24 年 7 月 5 日（木） 14：00～15：30
開催場所	星が浦会館（大広間）
参加人数	19 人
出席議員	月田光明副議長（石炭対策） 土岐正人議員（座長・議会運営・総務文教） 松橋尚文議員（経済建設） 宮田 団議員（民生福祉）
質疑応答の内容	<p>問：基礎学力向上に向けて、学校ごとの数値を公表すべきではないか。</p> <p>答：同様の議会議論はあった。道は、平成 26 年度までに学力テストで全国平均以上を目指し、市は全道の平均以上を目標にしている。</p> <p>問：被災された方のことも考え、復興を助ける意味からも震災瓦れきを受け入れないのは疑問に思う。</p> <p>答：震災瓦れきには、国は 8000 ベクレル以下の瓦れきが含まれているとしていること、震災瓦れきが放射能の汚染の有無の分別がされていないこと、一次産業への風評被害や市民の安全安心を考慮し、市長は、瓦れきを受け入れないとしたことについて、賛成または反対の立場からさまざまな議論があった。</p> <p>問：フィットネスセンターの問題で、普段から利用していない議員が反対としたことには納得がいかない。また、M O O から出ているシャトルバスを大楽毛からでは利用できないので不公平ではないか。</p> <p>答：一昨年の事業仕分けで廃止の判定が出て、庁内で存続・廃止の検討がされたが、昨年廃止の方向性が示され、議会でも存続・廃止について相当な議論があった。結果、廃止に賛成が多数を占めた。M O O からのシャトルバスは一年間限定の激変緩和策である。</p>

	<p>問：介護予防の新たな施策として、ボランティアポイント制度導入の議論があったが、その後どのようなようになったか。</p> <p>答：市では、他都市の先進事例を研究したいとし、今のところ具体的には進んでいない。</p>
<p>議会への要望</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 被災地に何が必要かを実際に見て聞いて、どんな支援が必要か考えてほしい。 2 放射性物質が体内に入ってしまうと改善策はないと考えることから、分別できない震災瓦れきは受け入れない姿勢でいてほしい。 3 これからの釧路の将来像の市民意見を議会できちんと取り上げるべきである。 4 市税等5年未払いが続くと取り立てをしないというがとても不公平に思う。各部署の実情を踏まえ、より早く対策を進め、市の財政の健全化に努めるべきある。
<p>市への要望</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 公園敷地内に議員や政党のポスターが設置されているがいかななものか。 2 旧道立西高校のその後の跡利用について市でも考えるべきではないか。